

平成28年度 地方創生加速化交付金に関する事業と評価

対象事業の名称	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		平成28年度の取組み内容
	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	
元気な那珂市 創造プロジェクト	指標①	先進的食品素材加工技術による製品化数	3	個	H29.3	9	<b>①米ゲル技術を市全体で推進するための組織設置・運営</b> ・人材の育成(米ゲル技術に関する指導、研究・研修等) ・PR活動(米ゲル技術、試作品の試食発表会の開催等) ・アグリビジネス推進会議の設置(4回開催) ・米ゲルのシンボルマーク商標登録のためのデザイン案作成及び試験開発販売業務委託により、米ゲルの特性を活かした産品開発及び販売を実施 ・産業祭での米ゲルジェラート、クッキーの販売、賀詞交歓会での米ゲルジェラートの試食、菅谷保育所ふれあいの集いで米ゲルクッキーの提供、FOODEX JAPANでの米ゲルクッキーの紹介等により那珂市の米ゲルをPR  <b>②米ゲル技術の開発支援</b> ・米ゲル技術を活用した産品開発事業として商工会により米ゲルを活用した新たな菓子製品やメニューを考案し、米ゲルセミナー、試食会、発表会を開催 ・米ゲル技術に関する技術の指導、周知等 ・米ゲル製造機等の取組事業者等への貸出 ・JAでの一次加工品販売のための技術指導  <b>③静峰ふるさと公園の集客力向上に資する魅力向上</b> ・公園利用者の増加のための魅力向上プランの策定(市民・有識者を交えた検討組織の設置・調査研究等)
	指標②	特産品開発事業者数	5	事業者	H29.3	8	
交付決定額:12,498千円 実績額:11,350千円	指標③	静峰ふるさと公園年間来園者数	63,700	人	H29.3	50,315	
事業概要	米ゲル技術を活用した新たな特産品の開発・販売等を促進するために推進組織を立ち上げ、米ゲル技術の普及、特産品の開発、開発経費の補助及び技術支援を行い、製品化の加速を図るとともに、米ゲル技術及び特産品の情報発信(試食・販売・加工等)拠点として、八重桜まつり等で集客力のある「静峰ふるさと公園」内の遊休施設を活用することで、効率的かつ効果的なPRを実施する。併せて、公園の四季をとおした魅力向上対策や、必要な既存施設の改修等に地域(市民)との連携により計画的に取組むことで、地域産業とも結びついた新たな魅力を創出する公園を核とした、市全域への交流人口の増加を図る。						

※事業効果・・・ A:「非常に効果的であった」(目標値以上)、B:「相当程度効果があった」(目標値の7割程度)、C:「効果があった」(目標値以下(改善あり)) D:「効果がなかった」(目標値以下(改善なし・悪化))

有識者会議委員の評価		実績値を踏まえた平成29年度以降事業の今後について	
事業の評価	有識者からの意見	今後の方針	今後の方針
総合戦略のKPI達成に有効であった	・取り組み自体は市の魅力向上に資するものであり、一定の評価ができる。 ・実施した成果を、市内の事業者、学校、地域資源等と組み合わせ、産業振興、市内周遊の促進、教育等多面で活用する仕組みを考えてほしい。 ・取り組みを定着・発展させるためには消費者・利用者目線のPRを強化し、差別化を行うことが必要。また、デザインという観点も大切。	更に発展させる	<b>①米ゲル技術の推進協議会の運営</b> ・米ゲル技術・米ゲルを活かした特産品のPR等、情報発信機能の強化(加工、試食・販売、技術情報等) ・特産品開発の取り組み事業者数の拡充 ・法人化に向けた協議、検討(運営費等) ・商工会への販路拡大支援 ・JAへの産品開発支援 ・米ゲルシンボルマークの商標登録 ・アグリビジネス推進会議の開催(年3回程度)  <b>②静峰ふるさと公園魅力向上に基づく各種取り組みの推進</b> ・四季を通じた集客力の向上 ・子育て世代を中心に、3世代で楽しめる公園づくり ・既存施設の拡充(ユニバーサルデザイン化等)